

濱本 真輔

法学研究科・准教授

【研究】

①東日本大震災学術調査(日本学術振興会)の成果が『Aftermath: Fukushima and the 3.11 Earthquake』としてTrans Pacific Pressから刊行された。同書に震災前後の連合形成と立法過程に関する論文を寄稿した。

②基盤研究(A)「グローバル時代のエリートと対抗エリートの平等観と政策ネットワークの変容」において、次年度に実施される調査の質問紙の作成に関わった。

③基盤研究(B)「議員交代比率の要因と帰結に関する比較研究」の一環として、日本政治学会において、「事前調整型の政党政治は定着したのか？ー公募制、マニフェスト、党議拘束ー」と題する研究を報告した。また、お茶ノ水女子大学のセミナー(日本の国会議員アンケートから見た議員行動とジェンダー)において、「議員行動とジェンダー・ギャップ」と題して講演した。

④基盤研究(B)「中央・地方の選挙制度が政党システムの制度化に与える影響」の一環として、都道府県議会の選挙データの構築を進めた。

⑤次年度に刊行される『日本政治の第一歩』(有斐閣)と題する教科書の執筆に参加した。同書の第5章「議院内閣制と首相」を執筆し、初校の校正を終えた。

⑥これまでの研究成果を『現代日本の政党政治』としてまとめ、次年度の刊行に向けて研究を進めた。出版社が確定し、原稿を入稿した。

【教育】

①法学部の「政治学原論」(4単位)、「フレッシュマンセミナー」(2単位)「演習1a,1b,2a,2b」(各2単位)を担当した。政治学原論ではコメントカードを主とした質疑応答、2回の任意レポートを実施し、成績評価に組み込んだ。

②法学研究科の「政治学概論」(2単位)「政治学特殊講義」(2単位)を担当した。特殊講義ではテキストデータの分析方法の発展について理解を深めた。また、両科目において、受講者にペーパーの執筆を義務付け、添削指導した。

【管理運営】

部局内委員として、研究科教務委員、資料室員を務めた。

【社会貢献】

日本選挙学会・企画委員を務めた。

お茶ノ水女子大学のセミナー(日本の国会議員アンケートから見た議員行動とジェンダー)において、「議員行動とジェンダー・ギャップ」と題して講演した。